

KSK

発行 KSK 神奈川県障害者定期刊行物協会
〒222-0035 神奈川県横浜市港北区鳥山町1752番地
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3F 横浜市車椅子の会内

あゆみ会報

2020年1月号 第149号

編集 湘南あゆみ会
〒254-0807 平塚市代官町21-4 SEA平塚ビル3F フレンズ湘南内
TEL/FAX 0463-24-0420
定価 50円（会員は年会費に含まれています）



明けましておめでとうございます。

皆さまの上に
よい一年となりますように



2020年（令和2年）1月1日

今年のお正月は、澄んだ青空に太陽が輝き、春のような三が日となりました。暖かいのは有難いですが、喜んでばかりはおられません。地球の温暖化による現象が身の周りに迫って来ています。

社会の動きにしっかりと目を向けながら、私たちのすべきことをしっかりと行動する年にしたいと願います。

独りで悩んでいる人に家族会の存在が届きますように、精神障害者への理解と福祉が前進しますように、これからも力を合わせて頑張りましょう。

報告

12月 家族交流会と「訪問看護ステーションあやめ」の説明会

12月17日開かれた家族交流会は、参加者が14名で少し寂しい会となりましたが、「精神科訪問看護特化型 訪問看護ステーションあやめ平塚」から2名の看護師さんにお越しいただき、2時間にわたって質問を交えながら、お話を伺いました。

特化型とは？

全看護師が精神科専門の資格を持っている。

訪問エリアは？

平塚・茅ヶ崎・伊勢原・秦野・大磯・二宮
対象となる人は？

精神疾患で通院している人

・統合失調症 ・うつ病、躁うつ病などの気分障害
・不安障害 ・薬物などの依存症 ・知的障害
・摂食障害 ・てんかん など

どんな支援があるの？

・薬の管理 ・困りごとの話し相手 ・散歩
・一緒に部屋の片づけ ・洗濯や食事の準備を一緒に
・清潔面の手伝い など

利用料金は？

自立支援受給者証を利用し1割負担 世帯収入により月額上限の範囲の中で利用

受給者証がない人は申請の手伝いをしてくれる

訪問回数は？

週1回～3回 1回35分位

利用するには？

電話で申し込む⇒自立支援受給者証の有無の確認
精神科通院の有無の確認⇒いずれも有の場合、担当医師から指示書を貰う⇒利用開始

どんな人が利用したらいいの？（自宅の場合）

・健康管理、薬管理に自信がない ・一人での

時間が多く、気が滅入ってしまう ・ひきこもりがちで家から出ない、話し相手が欲しい ・遠方に一人暮らしで心配、様子を知りたい 等 家族は訪問を希望していても本人がNO という場合は？

根気よく家族と話をしながら本人の心が動くのを待つ

訪問の結果、良くなった例

- ・10年間ひきこもっていて自室から出られなかった人が、外まで見送ってくれるほどになった
- ・いろんな訪問看護ステーションが入っても駄目だった全盲の人が、顔が穏やかになり、希望が持てるようになった

そのほか

- ・交通費請求なし ・精神科通院の無料サービスあり ・ユニホームを着用せず、車に社名を入れないなどの配慮

【詳しいことの間い合わせは下記まで】

訪問看護ステーションあやめ平塚

TEL：0463-33-5170 FAX：0463-34-5160

訪問看護ステーションあやめ寒川

TEL：0467-72-5633 FAX：0467-72-5636

訪問看護ステーションあやめ藤沢

TEL：0466-84-0111 FAX：0466-83-6808

これからの予定のお知らせ

2月定例会 高森先生による SST 勉強会

2月10日（月）13：30～16：30

会場 崇善公民館第1会議室

どんな問題にも温かなアドバイスを下さる貴重な勉強会です。ご都合をつけて是非ご参加下さい。会場は、いつものひらつか市民活動センターの1階です。お間違えなく。

3月定例会 家族交流会予定

3月9日（月）13：30～16：30

会場 ひらつか市民活動センターA 会議室

詳細は2月号でお知らせします。

じんかれん研修会

2月4日（火）10：00～12：00

かながわ県民センター304 会議室 横浜駅西口5分

「病める家族」とのコミュニケーション / 家族にとって「心の病」をどう受け止めるか？

講師 品川博二氏 （ケアカウンセラー）

私達家族にとって最も根本的な問題について経験豊富な講師からお話ししていただきます。

あゆみ会報12月号同封のチラシ参照 定員60名

* 参加会員には湘南あゆみ会から交通費の補助があります。奮ってご参加下さい。

綾瀬 あがむの会 講演会

2月5日（水）14：00～16：00

綾瀬市保健福祉プラザ1階 多目的室

相鉄線さがみ野駅南口 神奈中バス長後駅西口

行き 綾瀬小学校前下車1分 約20分乗車

「地域で安心して暮らす精神障害者の理解と病気の理解」

講師 夏苺 郁子氏 （児童精神科医）

再び夏苺先生がやって来ます！！

11月の県民の集いに参加できなかった方、もう一度聞きたい方 この機会にどうぞ！！

申込不要 お問い合わせ 0467-76-3335 工藤

そのほかのお知らせ

- ひきこもり講演会

「私が一步を踏み出したとき」

1月31日（金）13：30～16：30

ひらつか市民活動センターA・B 会議室

参加費 200円 定員50名

要申込

**同封のチラシ参照

- 成年後見制度講座

「障害者権利条約と成年後見制度」

～資格制限見直しを通して 今、私たちに出来る事～

2月17日（月）10：30～12：30（開場10時）

済生会平塚病院1階 なでしこホール

講師 内嶋 順一 弁護士

定員 80名(申込先着順) 参加無料

**同封のチラシ参照



『わたしの体験～自分の人生は自分で決める～』

これは去る11月13日 平塚市中央公民館で行われた「県民の集い」において、パネラーとして登壇された和田千珠子さんの原稿です。和田さんが受けてきた数々の悔しい思いを、精神障害者が受けることのないように、人権が守られるように、和田さんの許可を得てここに掲載します。

私は横浜市旭区で精神疾患当事者活動家として活動している、統合失調症夫婦の和田千珠子です。今日はこれから10分間に亘って私の話を聴いて頂きたいと思います。

先ず、「あちゃ～」と思ったのは、この集いのパネラーを探していた方から「和田さんは精神保健福祉に関して何か不満有りますか?」と尋ねられました。私は何故か悪いDr.と出会う確率が高い人間なんです。「不満だらけですよ」と言ってこれからする話をしたら「それいい、それいい」と言われて「パネリスト和田さん」でお願いしますと言われ、1回目の打合せの時よくよくプログラムを見ると、「現在の精神科医療は本当に人の心を治しているのでしょうか」とあって、「私の話はテーマに合わないかもしれない」と思いました。

私が用意した話は今から23年前、12年前、今、という話、決して現在だけじゃない。「やられた」と思いましたね。でも、私の話を聞いてくれた方々から熱烈なリクエストがありましたので、自信をもって昔から今への話をしたいと思います。そういう訳でちょっと話がズレルかもしれないけどゴメンなさい。

「現在の精神科医療は本当に人の心を治しているのでしょうか」という問いかけに対して、私の答えは「とんでもない」です。精神障害者として、医療関係者に人権を蹂躪されたことがあるからで

す。

23年前、29歳で初入院していました。実は21歳で発病しているんですが、発病時入院しなかったパターンなんです。病気8年目で初めて入院したのです。健康な友達から電話で「お見舞いに行きたい」と言われたので、そのことをDr.に伝えると、「お前はここをどこだと思っている?天下の精神病院だぞ。お前みたいな精神異常者がフツウの人と話が出来るとでも思っているのくわ!」といわれ、瞬間的に凍り付いたのですが、その後、心の奥底から怒りの炎がふつふつとわいてきて、「退院したら病気を隠さず生きてやる」って決心したんです。精神科のDr.がそういうことを言いました。言っときますがこれ妄想じゃないですよ。実際にあった話です。

この10年後に主人となる彼と出会うんですが、先ほどのDr.とは違うDr.から「なに?同病の男性とつき合っている?薬増やしましょう」と云われ、付き合っているというだけで薬増やすってなに?と思い、彼と別れさせられて入院させられると思い、一緒に居た母を置き去りにして薬だけ持って彼のアパートに家出しました。

私の幸せ、私の人生は自分で決めました。この直後に妊娠して、町の産婦人科のDr.から「薬飲んでるんなら精神科と産婦人科の両方のある大病院に行くといいよ」と言われ、大病院の精神科に行ったら「あなた、精神障害者でしょ。あなたはお母さんには成れない。墮ろしなさい」と言われました。お母さんになれないって私のどこ見て言うの?失礼ですよ。

これって12年前の事なので、今はそんなことはもうないと思っていたんです。そしたら最近、うつ病の妊婦さんが言われていました。しかもそのうつ病の人が、産後の入院してる最中に、児童相談所が勝手に赤ちゃんを連れ去り、乳児院に入れることを受け入れなければ、赤ちゃんが何処にいるかも教えないうって言ったんです。強迫ですか?ほかに具合が悪くて赤ちゃんに3年半も合わせてもらってないというお母さんもいます。

なんか納得いかないモノを感じます。うちの娘は生後12日で乳児院に入れられました。「墮ろすか乳児院かどちらか選べ」と言われ、仕

方なく預ける方を選びました。でも最短の2歳3か月で戻ってきました。

私の妊娠中に、精神科にいた助産師さんに主人が「何であんな人をはらませた？あの人はお母さんにはなれない。あなたは子供の幸せとか将来を考えないんですか？」と言われ、主人は1日考えて「子供の幸せは子供が大人へと育っていく中で子ども自身が、自分は生まれてきて良かったと感じるものではないのでしょうか？」と言うと、助産師さんはグウの音も出なかったです。

私が出産する時、主人は私のDr.に「分娩室には近づかないでくれ。あなたが緊張して暴れると困るから」と言われました。このような勝手な予測で物言うのって精神科Dr.の決まり文句ですね。

私はDr.の言う通りにせず自分の人生を選んだから、このプログラムの中の新聞記事に出てるような素晴らしい家族を得ました。

私は月に2~3回、頭を抱え込んで動けなくなります。私の2つある発作の1つです。それでも私が自分でつかみ取ってきた人生、今は200パーセント幸せだと言えます。薬が効いてきて私がだんだん動けるようになると、娘が近寄ってきて「お母さん、なおったの？」って聞いてくれます。

「お母さんの具合良くなると嬉しい？」って聞くと満面の笑みで「うん」って言ってくれます。

娘には心配かけてるけど、わが家は病気のこと、初めから話して来たから、お父さん、お母さんの具合が悪いのも当たり前、そういう家です。

両親が精神障害者ということで娘のことを「かわいそう」「不幸なんじゃないの？」と思う人がいるようです。でもうちの娘は自信をもってこんな風に言ってます。「そもそも誰が幸せを決めるんでしょうか？幸せの基準は誰かと比較するものではないと思う」と。

よく娘に「頓服のんで」と言われます。最近何でもかんでも「Dr.の許可がなきゃダメ」という向きがあるけど、誰が自分の人生の責任をとってくれるんでしょうか？Dr.がとってくれるんでしょうか？責任取らなきゃいけないのは自分ですよ。

本当に人の心を治す精神科医療は、私が出会ってきたDr.がいるような世界では絶対ありえませ

ん。当事者の話も聞かず、自信やプライドを粉々にするような上から目線のDr.なんていません。

最近、看護学校に講師として何回か行きました。学生たちが「患者様の安心のために」とか言われて教育されているようですが、旧態依然の精神病院に看護師として入ったらどう感じるんでしょう。学校で学んだ事と現実の病院の実態のあまりのギャップにショックを受ける筈です。心配です。

「何かおかしい」と気付いた人たちが動くしか精神病院を変えて行く方法はないと思います。

私の精神科医療に対するただ1つの希望の光としては、私の出産の翌日の朝、「やったじゃん、和田さん！」と私の出産を心から喜んでくれた看護師さんがたった1人でもいたということでしょうか。ご清聴ありがとうございました。

和田さんは物言う当事者としていくつもの委員会の委員を引き受けるなど、ご夫妻で活躍しています。



【参考書籍】 チラシ参照

1) 障害のある人と優性思想 JDブックレット4

日本障害者協議会編 価格1000円+税

内容 優性保護法下の強制不妊手術 福島みずほ
強者だけの社会が理想なのか 藤井克徳
当事者・家族のおもい 和田公一 和田千
珠子 など

2) 精神障害を持つ人のための

「親亡き後に備える」

制作：NPO法人 地域精神保健福祉機構（コンボ）

A5版 124頁 価格1200円+税

当事者、家族、兄弟姉妹、専門家のみなさんの体験と知恵を集めた本！

「親亡き後に備える」ために、何を話し合い、何をすれば良いのかがわかる本です。